

## 八方尾根トレッキング

山行日：2022.4.17   メンバー：2名（部外者1名）   天候：晴れ   記：t h  
コース：座間/5:45 - 安曇野IC/8:00 - 八方P/9:00 - ゴンドラ駅/9:45 - 乗換2回 -  
八方池山荘/10:30 - 八方ケルン/12:40 - 八方池山荘/13:40 - 八方駅/14:40  
長男がスノボで八方尾根に行くので同行することに。40年ぶりの八方尾根 1週間前の週末は天候がつづいており、ゴンドラに乗るのに大変な行列で1時間以上並んだとのことで、行列が解消する時刻に到着するように、ゆっくりと出発した。

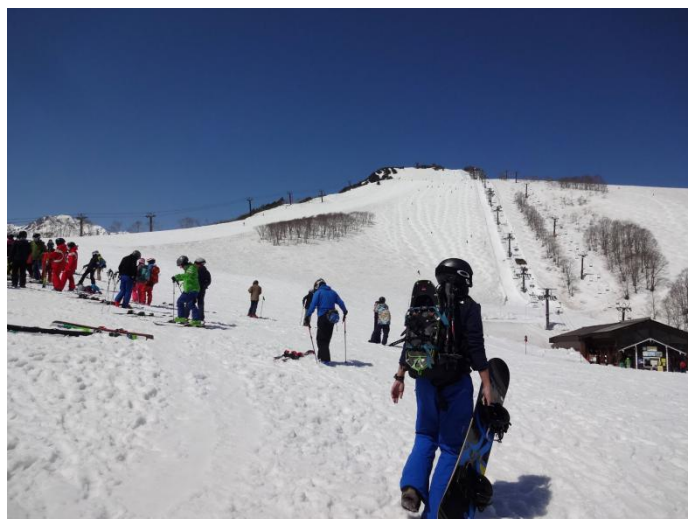
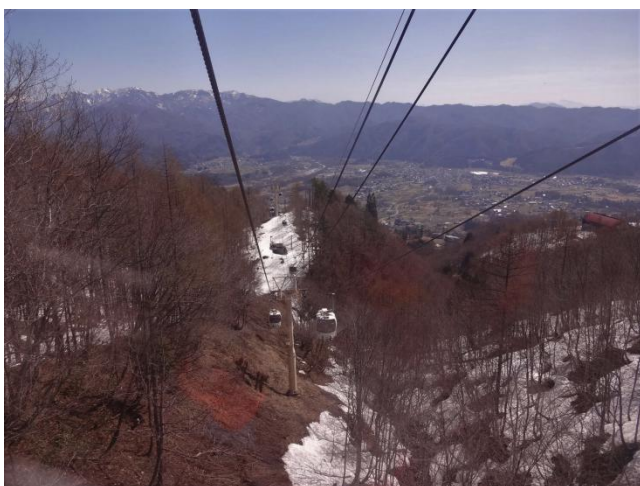


ゴンドラ駅はすぐに乗ることが出来た。

混雑時にはこのような長蛇の列に



ゴンドラから2回リフトを乗り換えて、さらに高度を挙げて上へ



リフトに乗って上へ



1840mの八方池山荘が終点



準備を整えて歩き出す



正面に妙高山等の頸城山塊が見えている



左に鹿島槍ヶ岳

右に白馬三山が見えてきた



第三ケルンにスノーボーダーは見当たらず寂しい状態



八方池は雪に埋もれている。ここからガラガラ沢へ降り立ち、徒渉して林道を延々と歩いて帰るとのこと  
私はもう少し登って行くが結構な急登が待っていた



急斜面手前で時間的に余裕がなくなり引き返すことにし、鹿島槍山頂部はガスに、神々しい五竜岳にも別れ



唐松岳から不帰嶮



白馬三山





鹿島槍、五龍岳も  
見納め

昔五龍岳～鹿島槍  
移動中天候悪化で  
スキーが多く  
居た長大な遠見  
尾根を降った時  
キャンデーズの  
「春一番」が  
流れていたな・・・



八方池から1時間掛けてガラガラ沢へ降り立った彼は徒渉で手間取り、林道を2時間要して戻ってきた  
こちらのはのんびりと足湯で時間つぶし、合流してすぐ前の「八方の湯」でのんびりと過ごす

スノーシューとスノボで15kg以上を背負って無事に帰還

